

# 誰が“3密”を避けているのか

— 新型コロナウイルス意識調査より —

上席主任研究員 水野 映子

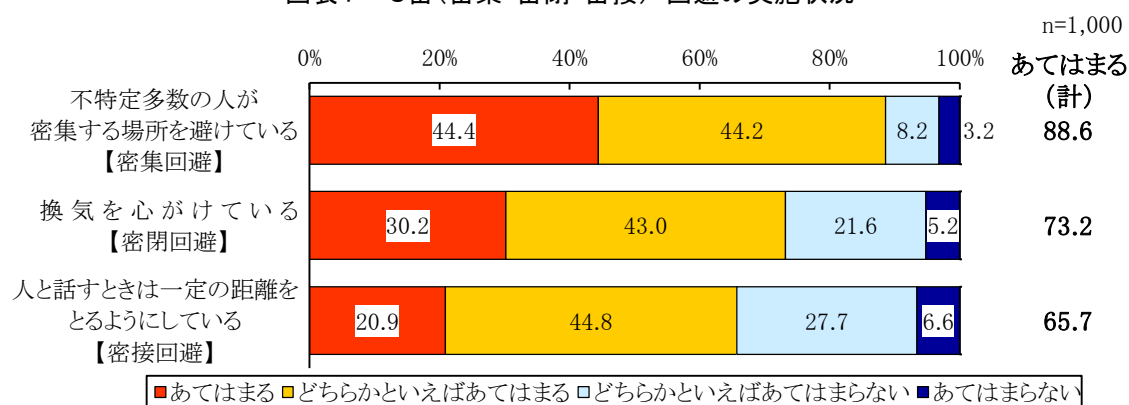
新型コロナウイルスの感染拡大を防止するためには、多くの人の“密集場所”、換気の悪い“密閉空間”、間近で会話や発声をする“密接場面”という“3つの密”、略して“3密”を避けることが重要とされている\*<sup>1</sup>。本稿では、当研究所が実施した「新型コロナウイルスによる生活と意識の変化に関する調査」\*<sup>2</sup>をもとに、この“3密”を避ける行動をどのような人がおこなっているのかを分析する。

## <会話時の“密接”回避をおこなっているのは3人に2人未満>

まず、“3密”を避ける行動の実施状況を図表1に示す。

この調査で“3密”を避ける行動としてあげた3項目のうち、あてはまる（「あてはまる」＋「どちらかといえばあてはまる」）と答えた割合が最も高いのは、「不特定多数の人が密集する場所を避けている」（88.6%）という“密集”回避である。それに比べると、「換気を心がけている」（73.2%）という“密閉”回避の割合は低い。「人と話すときは一定の距離をとるようにしている」（65.7%）という“密接”回避の割合はさらに低く、3人に2人に満たない割合となっている。

図表1 “3密(密集・密閉・密接)”回避の実施状況

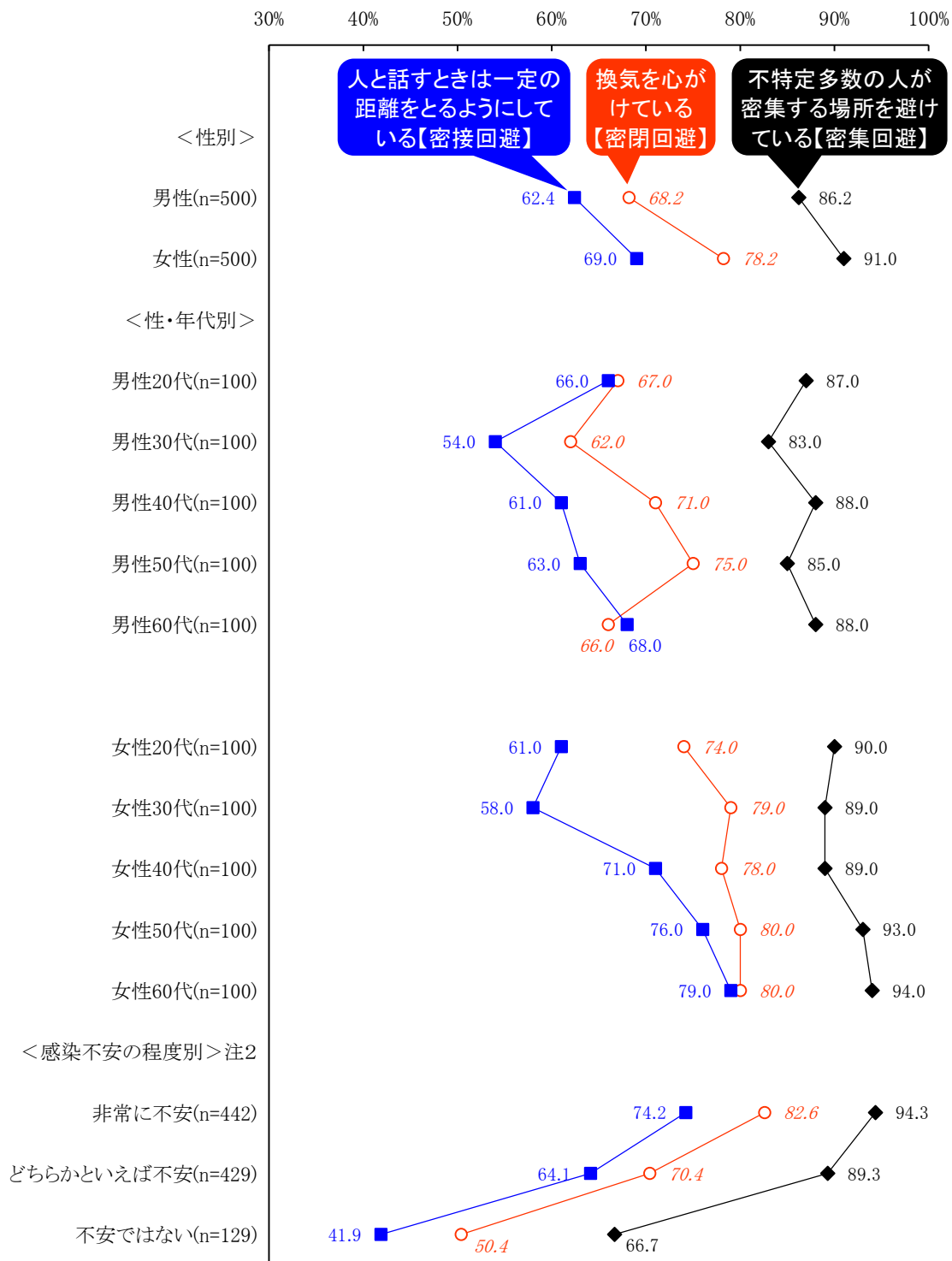


## <“3密”を最も避けていないのは男性30代>

次に、これらの3項目にあてはまると答えた割合を属性別に示す（図表2）。

性別にみると、“3密”のいずれも男性より女性のほうが避けている割合が高い。特に、「換気を心がけている」という“密閉”回避については、男女で10ポイントもの差が生じている。

図表2 “3密(密集・密閉・密接)”回避の実施率<sup>注1</sup>(属性別)



注1：各数値は、それぞれの質問に「あてはまる」または「どちらかといえばあてはまる」と答えた人の割合。  
 注2：「自分が感染すること」の不安に関する質問への回答。「不安ではない」は、「全く不安ではない」または「どちらかといえば不安ではない」と答えた人。

さらに性・年代別にみると、「人と話すときは一定の距離をとるようにしている」という“密接”回避は、女性60代（79.0%）、女性50代（76.0%）の順に高く、男性30代（54.0%）で最も低い。「不特定多数の人が密集する場所を避けている」という“密集”回避は、他の項目ほど年代差はないが、“密接”回避と同様に女性60代（94.0%）、女性50代（93.0%）の順に高く、男性30代（83.0%）で最も低い。「換気を心がけている」という“密閉”回避は、女性50代と60代（それぞれ80.0%）で最も高く、男性30代（62.0%）で最も低い。まとめると、この調査であげた“3密”を最も避けているのは女性50・60代、避けていないのは男性30代であるといえる。

感染不安、すなわち「自分が感染すること」に対する不安の程度別にみると、いずれの項目も不安を感じている人ほど高い。また、データの掲載は省略するが、自分が感染したら「重症化するかもしれない」「誰かにうつすかもしれない」と思う程度<sup>\*3</sup>別に分析した結果においても同様に、そう思う人のほうが“3密”回避の割合が高かった。自分が感染することに対する不安や、感染した場合の重症化リスク・感染させるリスクを感じている人のほうが、“3密”をより避けているといえる。

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するためには、今後も引き続き、密集・密閉・密接という“3密”の回避をすべての人が心がける必要があるが、それが十分でない層に対しては特に行動を促すことが重要と思われる。

（ライフデザイン研究部 みずの えいこ）

#### 【注釈】

\*1 厚生労働省各種資料より。

\*2 調査の方法や結果の概要は、当研究所発行の以下のニュースリリースを参照されたい。

「新型コロナウイルスによる生活と意識の変化に関する調査（前編）」

[http://group.dai-ichi-life.co.jp/dlri/pdf/ldi/2020/news2004\\_01.pdf](http://group.dai-ichi-life.co.jp/dlri/pdf/ldi/2020/news2004_01.pdf)

「新型コロナウイルスによる生活と意識の変化に関する調査（後編）」

[http://group.dai-ichi-life.co.jp/dlri/pdf/ldi/2020/news2004\\_02.pdf](http://group.dai-ichi-life.co.jp/dlri/pdf/ldi/2020/news2004_02.pdf)

\*3 「自分が感染すること」に対する不安や「自分が感染したら、重症化するかもしれない」「自分が感染したら、誰かにうつすかもしれない」という意識についての分析結果は、以下のレポートで紹介している。

水野映子「誰が感染不安・重症化リスクを感じているのか」2020年4月27日

<http://group.dai-ichi-life.co.jp/dlri/pdf/ldi/2020/wt2004f.pdf>